THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. 728 June 2019

大原社会問題研究所雑誌

七二八号　【特集】「朝鮮三・一独立運動一〇〇年」その歴史像の再検討(2)

ISSN 0912－9421

大原社会問題研究所雑誌

728 2019.6

Special Issue : The 100th Anniversary of the"3·1 Independence Movement(Sam-il-Dokrip-Undong)": Exploring New Interpretations of National Independence Movements (2)

Nationalism of the People in the 3·1 Movement ..... CHO Kyeungdal

The "3·1 Independence Movement (Sam-il-Dokrip-Undong)" Seen from the Viewpoint of Colonial War ..... SHIN Chang-U

1919 in the Perspective of "Colonial Responisibilities" ..... ASADA Shinji

Article

Social Integration or Exclusion : Educational Opportunity for Second Generation of Immigrants—On Their Attendance of Senior High School ..... MIYAJIMA Takashi

Book Reviews

MOMOKI Baku, *Arendt Reads Marx : Labor and Totalitarianism* ..... HASHIZUME Taiki

MIYAKAWA Tadao, *Historical Stories of National Leaders and Statisticians in Japan : Their Common Desire for Enhancing Good Governance, Wealth and Welfare of the Nation* .....SUGA Mikio

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting ..... SUZUKI Akira

The Institute's Activities in February 2019

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan
web site：http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/
e-mail：oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
法政大学大原社会問題研究所
〒194-0298　東京都町田市相原町4342　TEL 042(783)2305

定価1,000円(本体926円)
年間購読　12,000円(税込)

二〇一九年六月

【特集】「朝鮮三・一独立運動100年」その歴史像の再検討
——民族運動史の新たな可能性を探る(2)

三・一運動における民衆のナショナリズム——二つの事例から　趙景達　1

植民地（征服／防衛）戦争の視点から見た朝鮮三・一独立運動　愼蒼宇　16

植民地責任論からみた1919年——民族自決と戦争責任　浅田進史　49

■論　文

移民第二世代の就学にみる社会的統合と排除——彼らの高校進学をめぐって　宮島　喬　67

■書評と紹介

百木　漠著『アーレントのマルクス——労働と全体主義』　橋爪大輝　83

宮川公男著『統計学の日本史——治国経世への願い』　菅　幹雄　88

社会・労働関係文献月録　91

月例研究会　鈴木　玲　93

所　報　2019年2月　94

発　行／法政大学大原社会問題研究所
発売所／法政大学出版局　3330-55001-7710
〒102-0071　東京都千代田区富士見2-17-1
TEL 03(5214)5540
郵便振替口座　00160-6-95814

法政大学大原社会問題研究所叢書

日本社会党・総評の軌跡と内実

20人のオーラルヒストリー

独自の聴き取りプロジェクトを書籍化！
年表、結党綱領や村山談話等の資料付

◎編者紹介
五十嵐仁　（法政大学名誉教授）
木下真志　（法政大学大原社会問題研究所嘱託研究員）
法政大学大原社会問題研究所

◎証言者（掲載順）
【日本社会党】加藤宣幸／伊藤 茂／初岡昌一郎
曽我祐次／仲井 富／高見圭司／上野建一
横山泰治／細川 正／船橋成幸／海野明昇／前田哲男
園田原三／浜谷 惇／橋村良夫【総評】谷 正水
塚田義彦／梁田政方／公文昭夫／富塚三夫

戦争による荒廃から立ち上がり、「民主日本」を夢見て力を尽くした人々の消し去ることのできない足跡

各証言者に共通するのは、信ずるところに向かう闘志や情熱である。
社会党・総評が影響力を持ち、輝いていた時代を支えていた方々、あるいは社会党の再建に尽力された方々からの証言は、今後の戦後日本政治史研究に少なからぬ影響を与えるにちがいない。

【体裁】A5判■上製■680頁
定価：本体6300円＋税
ISBN 978-4-8451-1588-4・C0036

（株）旬報社　東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
旬報社 TEL. 03-5579-8974 FAX. 03-5579-8975

有斐閣 出版案内　〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17/Tel:03-3265-6811
http://www.yuhikaku.co.jp/
（表示価格は税別。消費税込みの金額が定価です。）　◉図書目録送呈◉

ビット・バイ・ビット
マシュー・J・サルガニック著／瀧川裕貴・常松 淳・阪本拓人・大林真也訳
◉デジタル社会調査入門
ビッグデータや集合知を使った新しいサーベイ法が、社会科学の世界を変えつつある。待望の邦訳。
A5判 四〇〇〇円

社会学入門・中級編
稲葉振一郎著
因果推論から質的社会調査まで、現在の社会学の考え方を社会科学の潮流のなかに位置づけ、AIを用いた統計的機械学習の可能性をも射程に、学問の針路をうらなう。
四六判 一九〇〇円

最低生活保障の実証分析
山田篤裕・駒村康平・四方理人・田中聡一郎・丸山 桂著◉生活保護制度の課題と将来構想
生活保護制度を中心とする日本の最低生活保障の現状と政策変更の影響を、独自の調査を含む大規模データに基づき分析。
A5判 二九〇〇円

生活保護と貧困対策
〔有斐閣ストゥディア〕
岩永理恵・卯月由佳・木下武徳著◉その可能性と未来を拓く
貧困や生活保護をめぐるさまざまな誤解を解きほぐし、よりよい制度・社会の構築へと議論をつなげる。他国と比較しながら考える視点等を提示する。
一八〇〇円

震災復興と展望
船橋晴俊・田中重好・長谷川公一監修／吉野英岐・加藤眞義編◉持続可能な地域社会をめざして
東日本大震災後、コミュニティと自治体の存続など課題は残り続けている。精力的な現地調査を行ってきた社会学の成果を世に問うシリーズ「被災地から未来を考える」第三巻。
A5判 予価四五〇〇円

ゼロからはじめる経済入門
〔有斐閣コンパクト〕
横浜国立大学経済学部テキスト・プロジェクトチーム編◉経済学への招待
経済学をはじめて学ぶ人のために、企業、貿易、金融、財政など、経済学の各分野の入り口を紹介。アクティブ・ラーニングの行い方も収録。
予価一二〇〇円

日本労働研究雑誌

No.707　2019年6月号　定価 852円+税　年間購読 11,040円（税込）

保育・育児と就業に関する計量／実証エビデンス

■提言	何のために働くのか？日本人の生き方が問われている	大沢真知子
■論文	子どものいる労働者の家計内時間配分の決定	小原　美紀
■紹介	母乳育児と親の働き方	臼井恵美子 小林　美樹
■論文	保育政策の意図せざる帰結	山口慎太郎
	保育所整備は女性の就業率や出生率を上げたのか——保育政策の政策評価	深井　太洋
	保育サービスの需給バランスと政策課題——GIS を用いた可視化から考える	宮澤　仁 若林　芳樹
	小学校一年生の壁と日本の放課後保育	高久　玲音
■研究ノート（投稿）	自然実験によるキャリア教育の効果測定 ——キャリア教育が大学生のキャリア意識に与える影響	平尾　智隆
■読書ノート	イリス・ボネット『ワークデザイン——行動経済学でジェンダー格差を克服する』	原　ひろみ
■論文Today	友人からのプレッシャーはどのように教育投資に影響を与えるのか？	矢ヶ崎将之
■フィールド・アイ	労働参加率と出生率（トロントから②）	所　浩代

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
〒177-8502　東京都練馬区上石神井 4-8-23
☎ 03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2019年5月号
74巻5号

5

定価 1,200 円(税込)
年間購読 12,000 円(税込)

【特集】海外勤務者の安全健康を支える

◆海外勤務者の現状と健康管理 …福島慎二・濱田篤郎
◆海外事業場における労働安全衛生活動と体制構築に必要な情報収集ツールの開発 ……梶木繁之
◆インフルエンザ等パンデミック対策 ……鈴木英孝
◆海外派遣企業が実施すべき産業保健活動とインフラの整備 ……小山一郎
◆企業の海外勤務者の健康管理体制の構築 …小田上公法
◆海外勤務者のメンタルヘルスケア ……池田晴恵
◆海外赴任者の労災補償と過労死等の判例 …松丸　正
◆海外特派員の生活と健康をめぐるよもやま話 ……高野光一郎
◆巻頭言＜俯瞰＞海外生活で学んだ私の安全健康管理術 ……長須美和子
◆産業保健の仕事に携わって・10　印刷労働者の胆管がん事件(後) ……熊谷信二
◆凡夫の安全衛生記・29　機械安全対策④…福成雄三
◆産業安全保健専門職と活用・11　産業カウンセラー ……大城悦徳
◆にっぽん仕事唄考・68　釧路炭田と「うたごえ運動」② ……前田和男
◆口絵　ディーセント・ワークを目指す職場・5 …… 有限会社スタイル

〒169-0073
新宿区百人町3-23-1
桜美林大学キャンパス内1階
公益財団法人 大原記念労働科学研究所
TEL：03-6447-1435
FAX：03-6447-1436
HP：http://www.isl.or.jp/